



当たるも八卦、当たらぬも八卦！

06 トレイルO 矢板大会 2006年3月25日

トレイルO研究会
藤島由宇



Aクラス優勝の山口拓也選手

両選手は矢板大会の前日に東京・代々木公園で仲尾勝利長崎県協会事務局長らと自主練習を行っており、長崎勢の日本代表にける意気込みが強く感じられました。



カードにパンチする宇田選手

地元栃木からは日本オリエンテーリングの祖、田口肇さんらが参加

昨年3月の日光インカレに引き続き、今年も栃木県在住でかつてフットO日本代表チームの監督も務めた田口肇さんに障害者への広報活動の一切を引き受けていただきました。

田口さんは今年は車イスで競技に参加。介助ボランティアの方にトレイルOの解説をしながら楽しまれました。また地元障害者団体からも昨年日光インカレ以来トレイルOは2度目という3人の方が今年はBクラスに参加し、その中の高田剛さんは「当たるも八卦、当たらぬも八卦！」と、散歩をしながらのクイズを楽しんでおられました。



田口肇さんと高野由紀、美春親子

(藤島由宇)

唯一の全問正解者、山口拓也選手が混戦を制す

「全問正解が出た！」そろそろ参加者も皆ゴールし終えただろうという頃の声に、会場がざわめきました。

杉本光正、山口尚宏、吉村年史らの実力者たちが軒並み1問不正解で推移しており、「今日は全問正解は無さそうだ」「やはりTC(タイム・コントロール)勝負か」という空気が会場に漂っていました。そんな中、堂々の全問正解(11点、TC23秒)で優勝したのが山口拓也選手(北大OLC4年)でした。

山口選手はトレイルO研究会でも有数の20代会員で、トレイルO歴は2年。昨年11月の愛知インカレトレイルで優勝し、第2回全日本選手権では8位に食い込むなど着実に実力をつけ、4月16日現在の日本トレイルOランキングは9位と、頭角を現してきました。

この大会の後に開催された2006年世界選手権日本代表選考委員会では惜しくも日本代表には選出されませんが、この矢板大会の優勝が評価され、補欠・コーチ補佐として今年7月のフィンランド行きを決めました。

【Aクラス 上位(10点以上)成績】

順位	選手名	所属	得点	TC
11	点満点(うちTC=1)			
1	山口拓也	北大 OLC	11	23.0
2	藪田隆俊	三河 OLC	10	8.0
3	吉村年史	京葉 OLC	10	11.5
4	鈴木規弘	多摩 OL	10	12.0
5	山口尚宏		10	16.0
6	杉本光正	ES 関東 C	10	19.0
7	仁多見剛	多摩 OL	10	22.0
8	水島孝久	入間市 OLC	10	22.5

長崎からは宇田、蓮本選手が日本代表目指し参戦

第2回全日本選手権Pクラスに出場し、第3回世界選手権パラリンピック・クラス日本代表を目指している宇田睦、蓮本勇喜両選手(長崎県TOL協会)も遠路はるばる長崎より参加しました。



競技中の蓮本選手